



4 / 14・17 長年の自治功労に叙勲

北野 敏さん(喜多)・故 後藤 英隆さん(中松一)

高齢者叙勲(4/14)ならびに特別叙勲(4/17)伝達式が久木野庁舎で行われ、北野敏さん、故後藤英隆さんがそれぞれ旭日単光章を受章されました。

北野さんは、旧長陽村議会議員として昭和42年から54年まで12年にわたり在職され、村議会総務常任委員会委員や厚生労働常任委員会委員、同委員会委員長を歴任。旧長陽村の福祉文化、地域振興の発展に多大な貢献をされました。

また、旧長陽村消防団員として24年間住民の生命、身体や財産を火災などのあらゆる災害から守るため、精力的に防災に努められたことなど、その他多大な功績が認められての受章となりました。



北野敏さん(右から2人目)とご家族お2人と長野村長

故後藤さんは、昭和62年旧白水村議会議員として平成11年まで12年にわたり在職、文教民生常任委員会委員、同常任委員委員長、村議会副議長を歴任、旺盛な責任感と情熱をもって旧白水村の発展と、民生の安定に貢献され、また、長年にわたり県教職員としても熱意あふれる教育活動を実施したことなど、その他多大な功績が認められての受章となりました。ご遺族の後藤隆興さんは、「故郷南阿蘇で生まれ暮らし、生涯を全うできたことは本人にとって本望だと思えます。残された私たちも父の志を引き継ぎ故郷南阿蘇村の一員として頑張りたいと考えています」と話されました。



ご遺族のお2人と長野村長

4 / 18 阿蘇地域と県が一体となり徴収強化 税務併任徴収事務辞令交付

阿蘇郡市7市町村で行う併任徴収の辞令交付式が久木野庁舎で行われ、市原副村長から本村を除く6市町村税務職員11人、県北広域本部収税課特別対策班の職員5人に辞令が手渡されました。

阿蘇管内の併任徴収の取り組みは平成22年度、さらに県との取り組みは平成23年度からスタート。本年2月に阿蘇郡市7市町村で併任徴収の協定を締結しており、今後は、県および7市町村の税務担当者を相互に派遣、財産の差し押さえや、換価など滞納税の徴収強化に努めます。



市原副村長から辞令を手渡される県と阿蘇管内の市町村税務職員

4 / 16 保育所に動物園がやってきた 白水保育所で移動動物園

南阿蘇ふれあい動物園「フェアリーテール」(高森町)が白水保育所を訪れ、ばら・ほし・にじ組の園児82人が動物とふれあいました。園児は、ウサギ、モルモット、ひよこ、ヤギ、など全部で11種の動物に恐る恐る近づいたり、積極的に触れ合ったりといつもと違った園庭に大喜び。ふれあいの後は、家から持参した野菜の切りくずのえさやりも体験しました。フェアリーテールの佐野さんから、素直に動物に優しく接することやルールを守ることによって動物たちも安心して触れ合えることを学び、友だちにも優しくすることも伝えられました。



めずらしそうに動物を見つめる園児たち

4/21 地元の憩いの場として 駅にテーブルを寄贈

南阿蘇鉄道の南阿蘇水の生まれる里白水高原駅に、長田道雄さん(中松三)が手作りのテーブルを寄贈されました。

テーブルは、高さ77センチ、幅177センチ、奥行59センチの木製。大工をされている長田さんは、地元の人たちで毎月行われる駅掃除が終わった後の休憩の場として使用してほしいとの思いで製作されました。

今後は、地元の人たちの要望で、椅子も製作される予定。長田さんは、「テーブルを囲んでゆっくりお茶を飲んでほしい」と話されました。



寄贈されたテーブルと長田道雄さん

4/28 自然環境保全活動に表彰状 宇野教光さん・公子さん(第七駐在)

「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰が行われ、宇野教光さん・公子さん(第七駐在)が保全・活動部門で受賞されました。これは、自然環境の保全に関し、顕著な功績があった人(または団体)を表彰しこれをたたえ、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的に平成11年度から環境省が実施しているもの。

宇野さんご夫妻は、阿蘇において、私有地をもっぱら野生植物の保全活動のために活用し、草刈りや、草集めなど管理活動を実施することでハナシノブをはじめとする希少な植物の生育環境維持に貢献、自然環境の保全、普及啓発活動に尽力されたことなどが認められての受賞となりました。



表彰状を手にする宇野教光さん・公子さんご夫妻(中央)

4/16~6/4 ファームステイ(農家民泊)が始まりました 修学旅行生民泊体験

例年行われている修学旅行生の民泊体験が4月16日から始まりました。

4月30日は、香川県観音寺市立観音寺中学校から67人の生徒が村を訪れ、16軒の家庭が受け入れ。ジャム作りなど農業体験のほか、観光スポット巡りやアスペクタでのダンスを楽しみました。

5月15日には関東学院六浦高校70人が田植えを体験。

それぞれの修学旅行生は、1泊2日の南阿蘇を満喫し、離村式では受け入れ家庭と別れを惜しむ姿が見られました。受け入れは、6月4日まで予定しています。



1泊2日の民泊体験を楽しんだ修学旅行生たち

4/23 いつまでも元気で楽しく 村高齢者学級開講式

久木野総合センターで「平成26年度南阿蘇村高齢者学級開講式および第1回南阿蘇村高齢者学級」(学級長 桐原唯典さん)が開催され、村内老人クラブ会員(60歳以上)232人が参加しました。

高齢者学級では、阿蘇教育事務所長の上杉奈緒子さんによる講演が行われ、「生涯いきいきと学ぶということは、頭をいかに活性化させるかということにつながっている」と話されたあと、認知症危険度アンケートや、ゲームなどが行われ、参加者たちは賑やかな雰囲気を受講していました。



認知症アンケートに記入する参加者の皆さん



5/9

「冷たい」けど楽しい！

両併小学校プール開き

村内で最も早いプール開きが、両併小学校（後藤利恵子校長）で行われ、児童33人（全校児童35人）が一足早く夏を迎えました。

同小学校は梅雨の影響で水泳の授業が減ることを考慮し毎年この時期にプール開きを実施しています。

プールの水は近くの農家から提供された地下水を使用。この日は、これまでで一番の晴天となり、気温は23度、水温20度のプール日和。準備運動の後、プールに一齐に入った児童たちは、「キヤー」と歓声を上げながら、プール内を円を描きながら歩いたり、自由時間には元気に遊んだり初泳ぎを楽しんでいました。



先生と一緒にプール遊びを楽しむ児童たち

5/2

大きく羽ばたいてね！

けがをしたキジを放鳥（久木野保育所）

園児たちに野生のキジを見てもらおうと、久木野保育所を野田眞雄さん（第九駐在）が訪れました。

野田さんは、今年1月俵山で頭をけがをしている雄の野生のキジを保護され、自宅で薬を塗ったり、餌を与えたり献身的に飼育されてきました。

以前、保育所のお遊戯会で「桃太郎」の劇を演じる園児たちがキジがどういう鳥かイメージがわからないと聞いたのを覚えておられ、園児と一緒に野生に帰そうと今回の放鳥になりました。

初めて見るキジに園児たちはおおはしゃぎ。飛び立った後もキジの姿をいつまでも追いかけていました。



野田さんが抱くキジを見入る園児たち

5/10

きらびやかに稚児行列

江善寺（第二駐在）

第二駐在区の江善寺で30年ぶりに稚児行列が行われました。

この日は天気にも恵まれ、稚児行列には乳幼児から小学生までの97人のお稚児さんが参加。四季の森温泉から江善寺まで約1キロをきらびやかな衣装に身を包んで寺の本堂へと行進しました。

参加した子どもたちは、普段着られない衣装に緊張したり、珍しそうに触ったりする様子で、保護者などに手を引かれて無事に行進していました。



きらびやかな衣装で稚児行列する子どもたち

5/10~18

村のアーティストたちの作品を展示

青葉の季節のアートフェスタ

村の自然豊かな環境の中で活動するアーティストたちのアトリエやギャラリーを会場とした作品展「青葉の季節のアートフェスタ」が5月10日から18日まで開催され、多くの来場者で賑わいました。

15カ所の会場で陶器や草木染め、アクセサリーなどの作品が展示されました。

ギャラリーの一つ「りんどう花房」では、押し花でデザインされたハンドミラーや風景画、村の風景を写した写真が数多く展示され、来場者の目を楽しませてくれる作品が並んでいました。



数多くの作品が展示された「りんどう花房」（久木野地区）